

集落支援員だより

第36号

発行者 東和地域集落支援員
連絡先 66-2490
発行日 令和5年8月24日(木)



人命の尊さ学ぶ

太田西谷区自主防災会



座学も納得のいくまで

6月18日(日)西谷公会堂において、心肺蘇生と安全な消火器取り扱いについての実技講習会が行われました。今回は、西谷区防炎会(代表菅野拡さん)の呼びかけにより、西谷区、寺坂区の合同開催となり、約30名が参加しました。過去には西谷区、寺坂区共に、川の氾濫により、一部の家で床上浸水という事例がありました。その際、命の危険にさらされたという経緯もあり、集落の方々は、心肺蘇生の話など真剣に耳を傾けていました。講習修了後には、集落の方々から



入念に消火器の扱いを学ぶ

講師の方へ多くの質問があり、関心の深さが垣間見られました。心肺蘇生と消火器の扱いは、いつ何処で必要とされるかもしれせん。今後、心肺蘇生法等学ぶ機会がありましたら、是非体験してみたいかがでしようか?



心配蘇生も真剣そのもの

さわやかな風

東和の自然が好き



「永久とくに繋がるように受け継いでいきたい、わたしの故郷」
尾形ひかるさん(木幡)

私は東和に生まれ、物心ついた頃から、「東和の自然」の中で暮らすことが、何よりとても心地よかったです。感じていきます。緑豊かな自然に囲まれていたこともあり、ですが、亡き祖父が家族で食べられる量の野菜やお米を作っていたので、祖父母に付いて、裸足になって田んぼに入り、ヤゴやタニシを見つければ、畑ではミミズを見つけては、家族に伝えていました。幼少期ながら、そこでオタマジャクシがカエルになること、キャベツの葉の裏のサナギがモンシロチョウになることなどを知り、生活のなかで自然に学んでいたんだと思います。小学校でのサツマイモ堀りや田植え体験、東和太鼓の練習をした時の手マメも良き思い出です。しかし、中学校の頃に発生した東日本震災による放射能により、



畑や田んぼに触れることが出来なくなり、私自身「自然」が怖いと感じた時もありました。また、高校に入り野球部のマネージャーになり、その後専門学校生活で、東和や自然からかなり離れているように感じていた時もありました。現在は地域密着型のスポーツジムや、とうわつながらマルシェの活動をおし、東和地域の方々と接する時が増え、「東和の自然」が好きだったのを思い出すことが多くあります。東和から離れていると感じていた時期を埋めるように感じられていた今を大切に、より多く東和の思い出をつくり、受け継いでいきたいです。

食の手仕事

「梅干し」



しそジュース



天日干しする梅

高校の時、父方の祖母が梅干しを作っていて、作り方を書いて残してもらいました。東和に来てからも色んな人に教えてもらい、料理研究家の本を読み、独自の作り方を模索して作っています。父は梅干しが大好きで、催促されます。熟れた実は薄い黄色で、出来上がりがふっくらし香りもです。昨年は230kg漬けたのですが、3月でなくなってしまうので、今年は量を増やしました。今年は10月から福島市のentや、木幡ベースで販売開始予定です。サクランボに始まり、梅、キュウリ、リンゴと順番に加工し、料理教室も開催し、充実の日々を過ごしています。



Soleil(ソレイユ) 大原陽子さん(戸沢)

車社会に於ける

命の大切さを学ぶ



交通安全母の会
太田支部長
齋藤 亜紀さん

母の会は、当該地区に居住する女性を会員としています。母の会の主な活動内容は、各季全国交通安全運動週間に合わせて登校時の街頭指導や、バス停での児童の見守りです。また、テント村作戦での地域住民に対する広報活動や、幼稚園・小学校の児童への交通安全教育の促進などです。支部によっては、ガードレール清掃や、道路脇のゴミ拾い、花壇の整備などを行っているところもあるようです。

以前は、このように地域の見守りの目が自然とあったように思います。現在では、登下校もバスや自家用車での送迎がほとんどで、地域住民と子ども達の交流も少なくなっています。その為、街頭指導を通じての子ども達との交流は、連れ去りや事故などに対して、防犯の面でも有効であると感じました。

5月は、とうわこども園での交通安全教室に参加し、子ども達と一緒に、東和地区交通安全母の会会長さんの自作の紙芝居を聴かせていただきました。子どもが道路に飛び出し、車に轢かれそうになるという内容でした。駐在所の所長さんから「道路などでは絶対に遊ばないで下さい。どうして分かる？」と聞かれると、園児達は「とび出して車にぶつかったら死んじゃうから！」と元気に答えていました。このように子ども達は、幼稚園や小学校、そして家庭でも、交通安全について学んでいます。運転する側も、スピードの出し過ぎや脇見などに気を付けて思いやりのある、歩行者優先の運転を心がけることが大切です。これからも、母の会の活動を通じて、役員をはじめ、地域の皆様や保護者の皆様と一緒に、子ども達の安全を見守っていきたいと思います。

隠れ文化財

天女の湧水 「太田布沢の鳥井戸」



昔々、暖かな春の日に、若くてきれいな弁天様が、羽衣をまとい、遠く京の都から白猪森に降り立ちました。足元にわらびなどをみつけ、夢中で摘み取っていると、指を

天様は、西の方へ飛び立って行ってしまいました。するとその地には、樹々の芽が美しく開き、キレイな水がこんこんと湧き出てきました。それが今では布沢の鳥井戸と呼ばれ、傷が



今も残る伝説の鳥井戸

あってもその井戸の湧水で手を洗うと、不思議と痛みや出血が止まると言われています。

美味しいトマトを食卓へ

戸沢地区 武藤喜一さん



トマト農家 武藤喜一さん

この地区は山林が多く、それに係る産業として、以前からシイタケ栽培が盛んに行われ、武藤さん宅でもシイタケの生産を生業としていました。しかし、親の高齢化と共に、体の負担軽減を考え、トマト栽培へと方向転換を図りました。始めは目的を同じくした4〜5人の仲間が集まり、試行錯誤を繰り返しながら、何とか3年目くらいだったそうです。

それから10年が過ぎ、生産拡大を勧める農協の後押しもあり、サンチュリービュアプラスという品種の苗で2000本、年間約9トンの生産にこぎつけた。それができた。それから約30年間、近所の方々の手伝いもあり、何とか9トンの生産を維持してきました。トマト栽培は温度に左右され、一年生草木で、病気にもなりがちなので、毎年が勉強だそうです。「よくやってきたな。」



鈴なりに実るトマト

武藤さんは、ここ数年はハウスでの作業が暑さとの闘いという事もあり、年齢も感じ、生産量の減産を余儀なくされました。今では苗は1000本、産量も4トン程度に半減しました。

それでも喜一さんは、美味しいトマトを作るために、今日もまたビニールハウスに入ってゆくのでした。

ウッディハウスとうわで賑やかに

「夏祭りマルシェ」 / 「ワクワク夏フェス地域交流会」



7月23日(日)、とうわつながらマルシェ(代表・久野綾香さん)と里視会(代表・斎藤悟至さん)による、「好き楽しい」おもしろい「夏のひととき楽しく遊んでワイワイ交流」と銘打った夏祭りが開催されました。



子どもから大人まで多くの方がウッディハウスとつなぐ、緑の日や小物の販売、飲食、ソフォンの演奏などを楽しみ、打ち上げ花火に歓声があがっていました。

針道若連連合で盆踊り・縁日・出店

「針道若連夏祭り」



8月12日(土)、針道若連連合(代表・近藤和裕さん)主催で開催された夏祭りは、子ども達にも楽しめる地域が一体になってチーム同士としてやるのが楽しいと語るお嬢さん。お嬢さんの練習に集まったメンバーのみならず、当日は、二本松信用金庫東支店駐車場



で、金魚すくいなどを楽しんだ子ども達も、盆踊りやお嬢さんが集まってきたり、益々賑わっていました！



人とモノの縁結び

「こはたマルシェ」



7月9日(日)、隠津島神社参道にて、こはたマルシェが開催されました。こはたマルシェは、人と会えないコロナ禍で、地域のコミュニティの大事さ、人との繋がりを大切にしたい、との思いから始まりました。地元治家若連や道の駅ふくしま東和なども出店し、二本松市内外からも様々なお店が軒を連ね、多くの方が訪れ賑わいをみせました。



「こはたマルシェ実行委員会」主催。共同代表の島村さん、お嬢さん、こはたマルシェを通じて、地元の人達との深い繋がりを感ずることが出来たといえます。次回の開催は11月12日です。ぜひ足を運んでみてはいかがでしょうか？

令和五年 東和の夏祭り復活！

里山にあの夏が帰ってきた！

～上太田・戸沢地区～
「仮装盆踊り大会」



8月13日(日)、里山の夏祭り実行委員会(代表・本多芳司さん)主催。戸沢・上太田地区の皆様の協力により、4年ぶりに道の駅ふくしま東和を会場に多くの方が集まり、賑やかに開催されました。スパイファミリーのアーニヤに扮した子ども達の仮装などが盆踊りを盛り上げ、最後は、打ち上げ花火で締めくくられました。

盆踊りに大きな輪

「木幡の盆踊り」



8月13日(日)、木幡住民センターグラウンドで開催された盆踊り大会は、ステイシでは、スイカ割りやかき氷早食い競争のイベントも。盆踊りを開催したのは、木幡地区元気づくり実行委員会(代表・村松隆一郎さん)のみならず、地元木幡の若い方の歌とお嬢子に、針道若連からも応援に駆け付け盛りの上がった盆踊り。開催目的は「木幡の仲間づくり、地元に住み続けるなら仲間づくりをし、知り合いを広げた方がいい」と代表は語っていました。

キュウリ天王様 盆踊り大会

～針道地区～
「津島神社例大祭」



7月16日(日)、疫病退散、厄難除け、無病息災を祈願し、津島神社本殿前で、盆踊り大会開催。お賽銭は、キュウリ2本、参拝するとキュウリが1本お下げもります。このキュウリを食べると、夏バテしないといわれています。



お嬢さんは、針道町・西若連のみなさん。主催…津島神社(総代…大槻重征さん)